

第2回 第3期鶴見・あいねっと策定検討会 議事要旨

日時：平成26年12月3日（水）15：00～17：00

場所：鶴見区役所6階 10号会議室

出席者：【委員】

小山委員長・八森副委員長

大野委員・岡留委員・荻島委員・烏田委員・川合委員・島田委員

杉浦委員・富樫委員・藤田委員・増子委員

【事務局】

福祉保健センター長、福祉保健センター担当部長、福祉保健課長、

高齢、障害支援課長、こども家庭支援課長、保護課長、地域力推進担当係長、

区社会福祉協議会事務局長、区福祉保健課、区社会福祉協議会

1 開会

委員長より挨拶

2 議事（進行：副委員長）

（1）第1回策定検討会の確認について

資料2「第1回策定検討会議事録」をもとに前回議事録の確認

→意見等なくホームページへの掲載について承認

（2）活動団体アンケート調査の実施について

資料3「活動団体アンケート調査の実施」をもとに説明

活動団体向けアンケートを11/15～配布、12/10締切。締切後に団体へのヒアリングを実施予定

（3）区民アンケート調査の単純集計結果について

資料4「区民アンケート調査の単純集計結果」をもとに説明

・区民2000名に調査を実施。12月3日時点で992通回答

・「あいねっとを知らない」という回答が70.6%

・最終集計結果は、次回の策定検討会で報告予定

意見交換

（委員）

③-3で子育て環境の充実が5%で子育てしづらいのかと気になる。

（委員）

鶴見は、交通の便が良いからという生の声をよく聞く。子育て環境の充実は、緑が多いや公園が多い、子どもが伸び伸びと生活できるというイメージが強いのではないか。

保育園も増えているので、これから子育てしやすいイメージに変わってくるかもしれない。わっくひろばで毎年利用者アンケートを実施しているので、アンケートの項目に追加すると良いとも考えている。

（事務局）

現在は、あくまで単純集計となっているので、これからクロス集計などをすると年代別などで結果が見えてくるので違った結果になるかもしれない。

(委員)

あいねっとが区民にどのように伝えられているのか。もっと周知していく必要がある。

(事務局)

区民全てに関係する取組であるため、今後も周知していく必要がある。24 年度に実施した区民意識調査では 25.1%だったが、その時よりも上がってはいる。

(進行役)

今後、クロス集計をした時に、どの年代に周知がされていないかが見えてくる。

(委員)

民生委員を知っているという回答が 40%あり、⑦-3 で充実した方が良いことに安否確認があるが、民生委員が月 1 回実施している。民生委員の活動が区民の方に知られていて良かったと思う。

(委員)

ケアサークル末吉に見守り隊が出来た。他の地域でも呼びかけていくと見守り隊が出来ていくのではないかと。⑦-2 の手伝いができることで安否確認が高い値を示している。この数字を見て心強く感じた。

(進行役)

見守り隊のような取り組みが、安心な鶴見につながっていくと思う。

(委員)

⑦-2 の結果を見て感じるのは、手伝い出来る意識が高くて、あと一歩踏み出せないという人が多いと思うので、踏み出せない人が参加しやすい仕掛けづくりが必要である。

(4) 第 2 期計画の振り返りについて

資料 5 「第 2 期鶴見・あいねっとの振り返り」

資料 6 「第 1 回策定検討会の意見交換まとめ」をもとに説明

(5) 話し合い

「第 3 期に取り組んでいきたい事」

資料 7 「第 3 期鶴見・あいねっと区全体計画の構成 (案)」

資料 8 「第 3 期鶴見・あいねっとの方向性 (案)」

資料 9 「第 3 期市計画の方向性」をもとに第 3 期計画策定の方向性について事務局より説明

意見交換

(進行役)

事務局から 3 期計画の構成と基本理念などの文言案についての説明があった。

構成について 3 期から新たに「目指す姿」「キーワード」「具体的取組」を盛り込むということであったが、構成の作りについて考えを聞かせていただきたい。

(委員)

「目指す姿」や「キーワード」があると地区で計画を考えていく時にも進めやすく、期待できる構成内容である。しかし、意見の意思統一を図りながら進めていくのは容易ではない。

(委員)

課題は分かっているけどどうやって広げていくかが難しい。キッカケがありそこから広げるのが難しい。広げる手段として事業を実施していくと良いと思う。軸となるものがわかるとやりやすい。

(進行役)

今やっていることとの関連性が見えたり、関連性を持たせたりして色々な人に知っても

らうことは大切である。いろいろな活動との関連づけやイメージ像が多いとわかりやすい。

次にそれぞれの項目について意見交換していきたい。まず「基本理念」についてどうか。より福祉をイメージしやすい言葉するという趣旨かと思う。案1、案2、その他で多数決を取ろうと思う。

→案2「安心・健やか・つながる「つるみ」」を希望された方が多かった。

(進行役)

案2の方が、言葉のテンポが良いので覚えやすいのではないか。

(委員)

ひらがなが多いと子どもにも覚えやすいと思う。

(進行役)

あいねっとを広く区民に知ってもらい進めていくためには、子どもにも分かりやすいというのが必要かもしれない。子どもにも分かりやすいは今後の検討材料としていきたい。

(進行役)

次に「推進の柱」「目指す姿」「キーワード」について、何かもう少し言葉を足してみてもどうかや、こんな言葉を推進の柱やキーワードに入れた方が良いなどの意見はありますか。

(委員)

理念に「健やか」があるが、2本目の推進の柱のキーワードに健康を入れるのは無理ではないか。鶴見区は健康寿命が市内で一番短いという結果もあるので、もう一つ柱を新たに作ることや健康づくりに関する文言をもっと入れた方が良い。

(進行役)

健康をもっと表面に出していく必要があるという話だったように思う。

(委員)

保健活動推進員でひざひざわっくん体操を各地区で実施している。ウォーキングを入れて健康を意識した活動になる工夫をしている。新しい参加者が増えてこないという課題もある。

生麦第二地区では、有事の際に避難場所まで歩く事を想定したウォーキングをしている。今後、魅力マップを作ってウォーキングを実施していく予定。鶴見区でもウォーキングや体操に参加してくれる人が増える工夫が必要だと思う。

(進行役)

健康をテーマにすると、層が広がることもある。ウォーキングでつながり、声掛けが増えるかもしれない。

(委員)

老人クラブは、自分の健康を守ることを推進している。。健康づくりは、体を動かすことだけでなく、囲碁・将棋などで脳に刺激を受けることも必要である。推進の柱が3つになっているが、健康を1つの柱にして4本の柱にする必要があると思う。

(委員)

今年度よりあいねっと推進フォーラムで健康チェックコーナーを実施するので、この取り組みを毎年継続していくことで、毎年同時期に自分の健康が分かって良いのではないか。

(進行役)

他の柱との関連付けをして健康を進めていくことも大切であると思う。

(委員)

乳幼児など色々な世代に健康ということは関わる問題でもあるので、健康をもっとピックアップしても良いのではないか。1つめの柱と3つめの柱は内容が重複している面がある。また、1つめの柱の「目指す姿」の文言だが、協働という言葉は難しいので協力

にしてはどうか。

(進行役)

まとめると、1つ目と3つ目の柱は、関連性が深いものなので、併せて一つの柱として新たに健康だけの1本の柱を作るのはどうかという意見かと思う。柱の数は、バランスを考えると3つが一般的にじっくりくる。

(事務局)

誰が見ても分かりやすい計画にするためにも『協働』というイメージよりも『協力』の方が分かりやすいと思う。1つ目と3つ目の柱は重なる部分がかかり多い。

(委員)

協働や協力ではなく単純に『一緒に』の方がさらに分かりやすいのではないか。

(事務局)

協力では対等ではないのではないかという意見があり、協働という言葉が使われてきたと思う。策定委員の皆さまから『一緒に』や『協力』で良いという意見を頂ければ変更することは出来る。

(進行役)

言葉についてはこれから文章化する中で随時確認を行っていく必要がある。ちょっと引っかけるといふものを全員が残さないことが分かりやすい計画策定になっていくと思う。

(委員)

一つ目の柱のキーワードには、『声かけ』が必要である。横のつながりをしていくには声掛けが必要

(進行役)

区民アンケートでも「声かけ」には高い値が示されていた。区民が期待して親しみのある言葉をキーワードにするというのも一つのアイデアではないか。

(委員)

身近な心配事や気になっていることをキーワードにするという意味でも『防災』はどうか。

(進行役)

危機感や本気な感じが伝わるキーワードではある。

(委員)

鶴見区は外国人が多いので、外国人に対する差別に関することを入れてはどうか。

(進行役)

差別という言葉を使うかその状態が解消された状態を使うかは検討が必要である。

(委員)

実際に外国人に対する差別的発言は存在している。相互理解に含まれるとは思いますが、もっと分かりやすく出ると良いと思う。

(進行役)

キーワードに直接すると厳しい面もあるので、状態像として反映させる方が、イメージが付きやすいのではないかと思う。否定的な言葉を使うと誤解が生じることもあるかもしれない。

(進行役)

前回の策定検討会の中で、実施した2期の振り返りについての意見交換で話しきれなかった「情報の発信・受取」についてお考えをお聞かせください。

(委員)

障害児者への理解といっても障害には、多くの種類がありまだまだ理解されていないと思う。中途障害の増加など様々な障害が増えていて、親自身が理解することと併せて近所に理解をしてもらう必要があると思う。

(進行役)

障害はひとりひとりそれぞれ違う。それに対してどう取り組んでいくか。計画の「具体的取組」のなかで検討する必要がある。

(委員)

個人で困っている人のニーズがあったらつなぐ人、つながりをつけてくれる人がいるといい。そうすると地域でお手伝いを出来る人が増えていくのではと思う。つながりをつける上手な方法があると、あと一歩踏み出せないでいる人がつながり、グループ化などになり活動が活発化していくと思う。落ち葉が多くて掃除をしている人は少しはいるがその人を助ける人は少ない。でも声をかければやってくれる人はいる。最初は嫌々でも次第に楽しくなる、そういう背中を叩かれない人はきっといるはず。

(進行役)

最初と最後に意見が上がったが、もう一歩を踏める方法・後押しというものが今回の計画の中で反映されると良いのではないかなと思う。

今日の策定検討会では、3つの柱の方向性・キーワード・具体的な取組みについて活発な意見交換が行うことが出来たように思う。

(委員)

学校の先生が地域と交流するやり方を知らないという相互理解は上手くいかない。地域との交流が上手にされていかないと活動も長続きしていかないとと思う。

あいねっとを知らないという課題を町会でどうするかについては、あいねっとの部会を町会で作って専門で進めていく人が必要だと思う。

ウォーキングで知り合って話す場が出来たなどの事例は、とても良い取組み事例であると思う。

4 その他

- ・ あいねっと推進フォーラムについて

平成27年2月28日(土) 13:30～ 鶴見区公会堂

- ・ 次回の予定

日時：1月21日(水) 15:00～17:00

場所：鶴見区役所6階10号会議室